

平成25年6月6日

中央漁業指導所・水産試験場

環境調査結果のお知らせ

平成25年6月6日午前10時半から野見湾・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温21～24℃、塩分31～34、溶存酸素濃度4～12mg/lでした。透明度は1～4mで、有害種カレニア・ミキモイが増殖していました。被害が想定される細胞密度に達しているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は21.6～23.7℃、塩分は31.2～33.7でした。前回調査時(H25.6.4)と比較して、水温は0～1℃上昇、塩分は同程度でした。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は4.39～11.75mg/lで、前回より0～2mg/l上昇していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は1.0～4.3mで、野見湾全体でパッチ状に着色域が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが最高8,100cells/ml確認され、多くの漁場で被害が想定される細胞密度を超えていました。その他、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデス、ケラチウム・フルカ等も確認されています。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

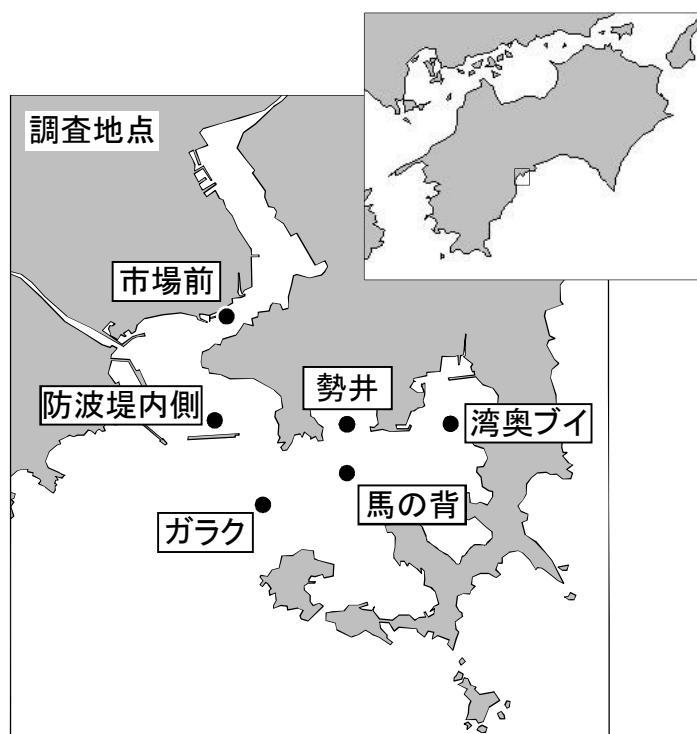


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	勢井	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.6.4)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	23.7	23.4	23.1	23.6	23.1	23.4	22.8	0.6	23.4
2m	23.6	23.4	22.8	23.6	23.0	23.2	22.7	0.6	23.2
5m	23.2	23.0	22.5	22.9	22.8	22.9	22.6	0.3	22.9
10m	22.7	22.5	22.2	22.4	22.3	22.4	22.4	0.0	22.5
B-1m	22.0	21.6	22.0	21.6	21.8	21.9	21.8	0.1	22.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	勢井	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.6.4)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	33.0	33.0	32.6	33.1	31.2	32.9	32.9	▲ 0.1	30.4
2m	33.0	33.1	33.0	33.0	32.8	33.0	33.0	0.0	32.4
5m	33.1	33.2	33.3	33.2	33.2	33.2	33.2	▲ 0.0	33.0
10m	33.4	33.4	33.5	33.4	33.4	33.4	33.4	0.0	33.3
B-1m	33.5	33.6	33.6	33.7	33.6	33.6	33.6	▲ 0.0	33.5

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	勢井	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.6.4)		市場前
							漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	10.52	10.54	7.84	11.26	8.58	9.63	7.43	2.21	8.27
2m	11.75	9.96	7.42	11.62	8.58	9.71	7.31	2.40	8.14
5m	7.67	7.36	6.87	7.07	7.50	7.30	6.12	1.18	7.75
10m	4.67	6.01	6.79	6.20	6.66	5.82	5.84	▲ 0.02	6.28
B-1m	4.39	5.91	6.79	5.90	6.09	5.70	5.60	0.10	5.66

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	勢井	津波防波堤 内側	市場前
水深	16.1	20.2	14.6	22.5	16.0	13.9
透明度	3.0	1.1	4.3	2.0	3.8	2.8
前回透明度	4.0	3.9	6.9	2.3	-	-

表5 プランクトン(cells/ml)

	カレニア・ ミキモトイ	カレニア・ パピリオナセア	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	ケラチウム・ フルカ	プロロセントラム・ デンタータム
湾奥ブイ	0m	2	0	4	22
	2m	1,780	2	0	49
	5m	21	15	0	8
馬の背	0m	8,100	3	24	56
	2m	1,520	3	23	44
	5m	240	4	4	21
ガラク	0m	2,080	4	0	19
	2m	25	3	0	2
	5m	49	4	0	10
勢井	0m	1,980	10	14	30
	2m	2,790	1	4	58
	5m	63	1	0	34
津波防波堤 内側	0m	1	1	4	1
	2m	0	3	10	13
	5m	228	1	3	26
市場前	0m	4	1	0	1
	2m	112	8	12	19
	5m	66	1	2	34

漁業被害が想定される細胞密度
●カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(へい死)
●カレニア・パピリオナセア:
赤潮発生時(へい死)
●コクロディニウム・ポリクリコイデス:
数百～1,000cells/ml(へい死)
●ケラチウム・フルカ:
100cells/ml(餌食いの悪化)